学校番号	T0106

平成31年度　外国語科

教科	外国語	科目	英語会話	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	Hello there! English Conversation						
副教材等	教科書の内容に関連した別教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ことを意識して学習しましょう。
・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2　学習の到達目標

①話すこと		②書くこと		③聞くこと		④読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って、複数の文で描写できる。 ・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。	観察 インタビューテスト	・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（すきなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。	ハンドアウト 考査	・ゆっくりはっきりと発話される基本的な英文を一文聞き取ったあと、リピートすることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることができる。	ハンドアウト 観察	・待ち合わせの時間や場所とおった日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	ハンドアウト 考査 観察

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

４　学習の活動

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson6 Are You All Right （６時間）	体調が良くないボブと保健室の先生との会話を通じて、体調の説明と助言に関しての表現を学ぶ内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	体調を説明ためのキーワードをハンドアウトにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ハンドアウトを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・体調の説明・助言に関する会話をよんで、その内容を理解する。 ・読んだことに基づき、体調を説明する・。	・内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて自己紹介する。	・内容を要約することできる。 ・読んだことに基づき、自己紹介することができる。 ・読んだことに基づき、体調を説明することができる。	授業時間を利用してインタビューテストを実地する。
		「外国語理解の能力」			
		・登場人物がどのような体調かまたどのような助言をしているか理解する。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	・登場人物がどのような体調かまたどのような助言をしているか理解することができる。	定期テストの筆記において、内容理解を問う出題により、内容理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞 should について理解する。	・教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	・助動詞 should について理解できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson7 My Beautiful Community （６時間）	ボブが恵に歴史の説明している会話を通して描写についての表現を学ぶ内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	描写するためのキーワードをハンドアウトにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ハンドアウトを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・描写についての会話をよんで、その内容を理解する。 ・読んだことに基づき、物事を描写する。	・内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて自己紹介する。	・内容を要約することできる。 ・読んだことに基づき、描写することができる。	授業時間を利用してインタビューテストを実地する。
		「外国語理解の能力」			
		登場人物がどのように歴史を説明しているか理解する。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	登場人物がどのように歴史を説明しているか理解できる。	定期テストの筆記において、内容理解を問う出題により、内容理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・場所の特徴を聞く表現について理解する。	・教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	・場所の特徴を聞く表現について理解できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson8 Traditional Culture （６時間）	サクラと韓国人留学生ウソンとの会話を通して、予定・習慣を尋ねる表現について学ぶ内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	予定・習慣を尋ねるためのキーワードをハンドアウトにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ハンドアウトを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・予定・習慣を尋ねる会話をよんで、その内容を理解する。 ・読んだことに基づき、予定を尋ねる。	・内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて自己紹介する。	・予定・習慣を尋ねる会話をよんで、その内容を理解することができる。 ・読んだことに基づき、予定を尋ねることができる。	授業時間を利用してインタビューテストを実地する。
		「外国語理解の能力」			
		・登場人物がどのような習慣をもっているか理解する。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	・登場人物がどのような習慣をもっているか理解することができる。	定期テストの筆記において、内容理解を問う出題により、内容理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・予定を尋ねる表現について理解する。	・教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	・予定を尋ねる表現について理解できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson9 Equal Roles （６時間）	昼食時間の会話を通して感想・感情を述べる表現について学ぶ内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	感想・感情を述べるためのキーワードをハンドアウトにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ハンドアウトを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・昼食時間の会話をよんで、その内容を理解する。 ・読んだことに基づき、感想・感情を表現する。	・内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて自己紹介する。	・昼食時間の会話をよんで、その内容を要約することができる。 ・読んだことに基づき、感想・感情を表現することができる。	授業時間を利用してインタビューテストを実地する。
		「外国語理解の能力」			
		登場人物がどのような感情か理解できる。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	登場人物がどのような感情か理解できる。	定期テストの筆記において、内容理解を問う出題により、内容理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・感嘆文について理解する。	・教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	・感嘆文について理解できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。

単元	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson10 Helping Each Other （６時間）	サクラとクリスが持ち物についての会話を通して、推測・主張についての表現について学ぶ内容	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	推測するためのキーワードをハンドアウトにメモし、それを参考にしながらペアで伝え合う。	ペアワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けている	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ハンドアウトを提出させ、その内容を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・持ち物についての会話をよんで、その内容を理解する。 ・読んだことに基づき、主張する。	・内容を口頭で要約する。 ・ペアで、メモに基づいて自己紹介する。	・持ち物についての会話をよんで、その内容を理解することができる。 ・読んだことに基づき、主張することができる。	授業時間を利用してインタビューテストを実地する。
		「外国語理解の能力」			
		登場人物がどのような持ち物をしているか理解できる。	教科書本文を用いて、日本語を確認しながら内容を理解する。	登場人物がどのような持ち物をしているか理解できる。	定期テストの筆記において、内容理解を問う出題により、内容理解できているか判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・推測・主張について理解する。	・教科書本文やその問題を用いて、日本語を確認しながら文法事項や場面を理解する。	・推測・主張について理解できる。	・ハンドアウトを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 ・定期考査の筆記テストにおいて判断する。